

今年も

にぎやかに

# ポロトミンタラフェスティバル

## ウポポイ開業3周年&音楽フェス

町はウポポイ周辺のにぎわい創出や観光客の回遊性を高めるため、今年も同フェスティバル2023を開催し、町の豊かな食資源や特産品、観光資源などを広く発信します。

### アイヌ文化の体験・発信、さまざまなジャンルの音楽ステージ

7月15日(土)、16日(日) 10時~15時

	15日	16日
10時	白老アイヌ協会 (アイヌ古式舞踊・ムックリ演奏)	しらおいGenキングダンスクラブ (ダンス)
10時45分	白老中学校吹奏楽部 (吹奏楽)	セレーノ新体操クラブ (新体操)
11時30分	NO STYLE (ヒップホップダンス)	北海道栄高校ダンス部 (ダンス)
12時45分	パフォーマーKUROちゃん (ジャグリングなど)	クイズ大会 (アイヌ文化)
13時30分	スクランブル (お笑い芸人)	HAMBURGER BOYS (音楽ライブ)

【文化体験ブース】♥甲冑 (かっちゅう) やアイヌ民族衣装を身にまとい記念撮影 ♥ウエちゃんのココポックル作り体験 (粘土) ♥アイヌ文化の製作体験  
※白老のご当地グルメが楽しめるキッチンカーも出店します



フェスホームページ

7月8日(土)10時30分~15時は、開業3周年特別編「フードマルシェ」を開催

キッチンカーが出店するほか、新鮮なホッキ貝や東胆振の農産物を販売します。

問い合わせ先：産業経済課 観光振興グループ ☎82-8214

8月20日まで

## 国立アイヌ民族博物館 第6回特別展示『アウタリオピッタ』

### アイヌ文学の近代 - バチラー八重子、違星北斗、森竹竹市 -

アイヌの三大歌人と呼ばれるバチラー八重子 (「若きウタリに」)、違星北斗 (「コタン 違星北斗遺稿」)、森竹竹市 (「若きアイヌの詩集 原始林」)らの直筆ノートや原稿など約110点を中心に、八重子が集めた衣服など生活の道具や、森竹がアイヌ文化を説明する際に使った生活の道具など約40点、また、写真家・掛川源一郎が撮影した写真の中から、八重子や森竹のほか、道内各地で撮影した写真など約20点を展示しています。これら展示資料から、当時のアイヌ民族がおかれた社会状況や歴史を、六つの展示構成で振り返っています。



特別展示特設ページ

講演会：「『コタン』を編む人—違星北斗27年の生涯」

日時：7月15日(土) 13時30分~15時 定員150人、無料

講師：山科清春さん (違星北斗研究会) 博物館1階交流室

※ほか、展示担当者によるギャラリートークを予定しています。

## 地域おこし協力隊通信



山岸奈津子さん(42)  
文化芸術担当(2年目)

昨年7月に地域おこし協力隊に就任し、もうすぐ1年。町内のさまざまな方々との出会いやご縁で、いろいろなかチャンスをもたらされた日々を過ごしています。

協力隊としての3年間を最大限生かすべく、この度、一般社団法人を立ち上げました。名前は「SHIRAOI PROJECTS (シラオイプロジェクト)」、略して「SHIPS (シップス)」です。

町やここで暮らす人の可能性を広げ、町を目標に、町に新しい視点をもたらしてくれようというアートプロジェクトの企画実施、さらに名前を「シップス」に決めた理由でもある海や港の魅力化につながる企画開発、これまで複数の企業や団体での経験を生かした商品開発および広報P

### 法人立ち上げ、町の可能性を広げる舟(シップス)になりたい

Rの提案を行っていきたいと思っています。また、直近では、町の可能性を広げるために切磋琢磨(せっさたくま)している人や文化・芸術についての情報を紹介・発信していくフリーペーパーの発行を予定しています。北海道でも有数の水資源に恵まれた土地、先人がつくり上げてきた歴史や文化、人の温かさ、食の豊かさ、交通の便の良さ、さらに国内でも五つしかない国立博物館がある白老町、もっともって面白くなる可能性があると思っています。ぜひ応援いただけたら幸いです。

